



相模原市長
加山 俊夫氏

相模原市は、昭和30年代の積極的な工場誘致の取り組みを契機として国内でも有数のモノづくり中小企業支援へ

器等の組立加工型工業を中心とした製造業をはじめ、キャタピラ・ジャパン、NEC、アイタエンジニアリングなど日本を代表する製造工場が立ち地しています。大多数を占める中小製造業では、長年培ってきた熟練技能や先端技術など独自の技術力を備えた「オーナー・ワン企業」が集積しており、相模原経済の活力を生み出しています。

現在の日本では、バブル経済の崩壊やリーマンショック、さらには東日本大震災の影響などにより経済環境は依然として厳しい状況が続いており、本市では創業から研究開発、新分野進出、販路拡大まで中小企業の成長段階に対応した各種施策を積極的に展開しております。

特に、本年11月には、本市が出資しておりますベンチャー支援機関「さがみはら産業創造センター」が、研究開発期から製造段階にある企業を多面的に支援する「ものづくり成長産業支援施設（SICOS Lab.）」を新たに開設する予定です。

また、企業誘致では平成17年10月に策定した「さがみはら産業集積促進方策（STEP 50）」を昨年4月にリニューアルし、さがみ縦貫道路（圏央道）インターチェンジ周辺の四つの「新たな都市づくりの拠点」への立地誘導を図るため、最大10億円の奨励金の交付のほか、税の軽減措置、雇用奨励金の交付などの奨励措置を設け、積極的な企業誘致に取り組んでいるところでございます。

さらに、JRR東海がリニア中央新幹線の間際駅を市内に設置する意向を正式に表明するなど、本市では各種の大規模プロジェクトが進行中ですが、こうした将来性ある本市の魅力や地域経済の活性化に結びつけることが、より自立した政令指定都市・相模原市の実現につながるものと考えます。



川崎市市長
阿部 孝夫氏

国際成長戦略拠点の形成へ

はじめに、東日本大震災の犠牲者の方々に謹んでご冥福をお祈りするとともに、被災者の皆さまに心よりお見舞い申し上げます。

今回の震災は、電力供給の制約やサプライチェーンの寸断、原発事故による風評被害など、市内企業の経営にも大きな影響を及ぼしています。

川崎市では、このような企業に対し、融資制度の拡充や受注先の確保に向けたコーディネート機能の強化などを行ってまいりました。

また、省エネルギー・創エネルギーの技術開発・導入促進への支援を拡充するなど、今後の省電力社会への対応を進めています。

一方、羽田空港の再拡張・国際化を契機に環境・エネルギー・ライフサイエンスなどの人類共通の課題を解決し、国際社会に貢献する産業の創出や集積に向けたさまざまな取り組みを進めています。

今年3月に「キングスカイフロント」と命名された羽田空港に隣接する殿町3丁目地区では、慶大と（財）実験動物中央研究所が連携し、「再生医療・新薬開発センター」が運営を開始し、新たな医療技術の実用化研究がスタートしました。

また、来年度には「環境総合研究所」（仮称）健康安全研究センター、等々の研究開発施設と、先端技術を持つ大学・研究機関・企業等向け入居施設などの民間施設を複合化した「（仮称）産学公民連携研究センター」が新たに開設予定です。

さらに新川崎・創造のまち地区ではナノ・マイクロテクノロジーの研究に必要なクリンルームを備えた産学公民共同研究施設が来年度4月にオープンします。

また、早大、東工大、東大からなるコンソーシアムと連携し、環境やライフサイエンス、福祉産業の基盤技術となるナノ・マイクロ理工学分野での世界的な研究拠点を築いていきます。

こうしたプロジェクトを推進することで、国際競争力のある成長戦略拠点の形成を図り、この川崎の地から日本経済の再生、そして新たな飛躍への一歩を進めていきます。



横浜市市長
林 文子氏

持続的な成長へ果敢に挑戦

東日本大震災は、市内でも多くの企業の皆様さまに、皆様の経営が一日も早く安定な影響をもたらしました。震すること、日本の元気につながります。

横浜市では、震災直後から企業の皆様の状況を把握し、速やかに企業への緊急特別相談窓口を開設し、資金繰りを支援しています。また、自然エネルギーの活用など、震災を乗り越え、持続的な成長に向けて果敢に挑戦してまいります。

私のモットーは「現場主義」です。昨年度は、7000を超える市内の中小製造業全事業所を対象とする調査を実施し、モノづくりの現場の皆様から経営の実情やさまざまな声をちょうだいいたしました。調査を経て、独自の研究開発に取り組み、優れた技術力をお持ちの企業が非常に多いこと、多くの皆様が今後、「環境関連」や「医療・福祉・介護関連」等の分野に力を入れていきたいと考えていらっしゃるということがわかりました。

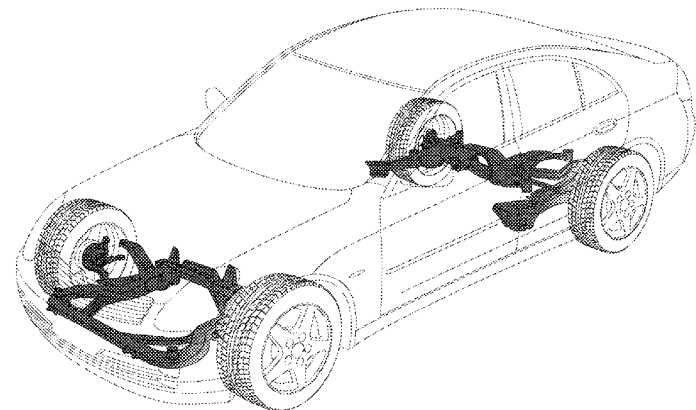
横浜市では、この調査で企業の皆様から直接伺ったニーズを踏まえ、中小企業のイノベーションを「挑む」「つなぐ」「見せる」の三つの視点からしっかりと支援してまいります。「挑む」という視点では環境・健康などの成長分野を中心に、新技術・新製品開発や設備投資への助成を今年度大幅に拡充しました。「つなぐ」では技術の専門家である、ものづくりコーディネーターが、中小企業の皆様の販路開拓や企業間連携を促進していきます。また「見せる」では現在行っているスマートシティプロジェクトをはじめとした社会実証実験などの取り組みを発信し、ビジネスチャンスへの拡大に取り組んでいます。

昨年4月に制定された「横浜市中心部振興基本条例」に基づき、経営相談、金融支援など、企業の皆様の土台を支える基礎的支援もより行いながら、中小企業の皆様の成長と競争力向上を積極的に後押ししていきます。

政令都市首長メッセージ

2

走りの未来は、ここから生まれる。サスペンションの「ヨロズ」



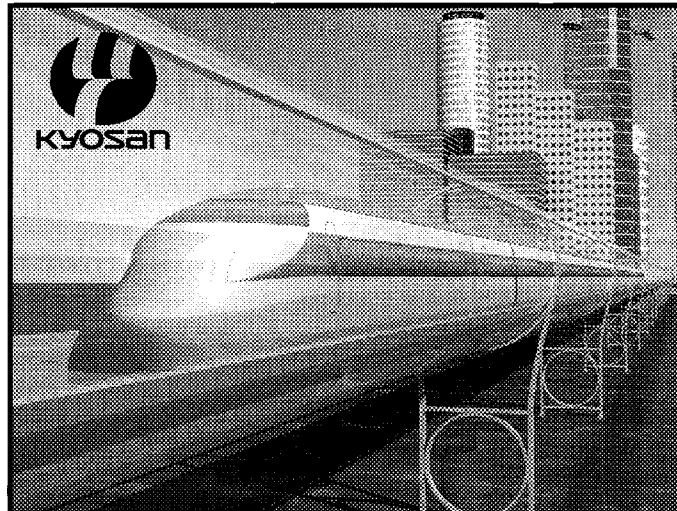
ヨロズは自動車メーカーの良き開発パートナーとして、新しい時代の新しいクルマ作りに貢献しています。

東京証券取引所市場第1部（証券コード7294）

株式会社 **ヨロズ**

<http://www.yorozu-corp.co.jp>

（本社）神奈川県横浜市港北区樽町3-7-60
TEL：045-543-6800代 FAX：045-543-7910



Control, Computer, Communication

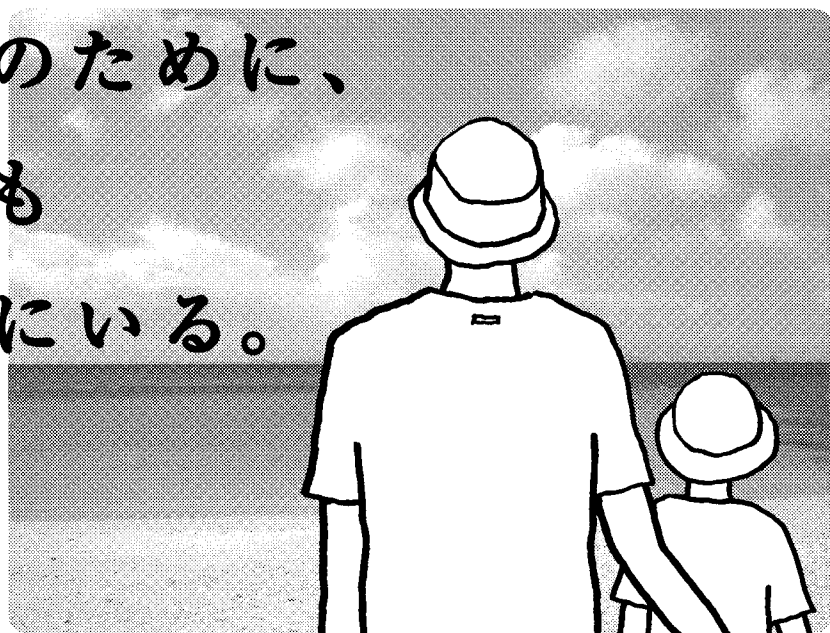
未来へ続く安全の 架け橋になります

「安全」をテーマに歩んできたその技術は多くの分野で貢献しています

■鉄道信号装置 株式会社 **京三製作所**
■案内表示装置
■道路交通管制装置
■半導体応用機器

本社・工場 〒230-0031 横浜市鶴見区平安町2-29-1 TEL (045)501-1261（番号案内）
東京事務所 〒100-0005 東京都千代田区丸の内3-4-2（新日石ビル）TEL (03)3212-0451
<http://www.kyosan.co.jp>

いつもの
安心のために、
いつも
そばにいる。



化粧品による肌のトラブルをなくしたい。そんな想いから無添加化粧品を生み出したファンケル。以来、サプリメントや発芽米、青汁などさまざまな商品とサービスを、安心、安全、やさしさの視点から提案しつづけています。

あなたを想うサイエンス。

FANCL

株式会社ファンケル 〒231-8528 横浜市中区山下町89-1 <http://www.fancl.co.jp/> ☎0120-34-2222

（社）日本通信販売協会会員 通信販売業界を代表する唯一の公益法人。広告適正化、アフターケア徹底等をめざし、昭和58年に設立。

TOSHIBA
Leading Innovation >>>

王子さま。

私たちはエコな暮らしと
エコな社会をつくっていきます。

商品で、技術で、モノづくりで。
エコな暮らしのスタイルと、
エコな社会のスタイルを創造していく。
それが東芝のecoスタイルです。

eco スタイル

この星のエネルギーとエコロジーのために。東芝

<http://www.toshiba.co.jp/env/prince/>

Le Petit Prince™ Succession Autorisee de Saint-Exupéry. Licensed by Le Petit Prince™ 星の王子さま™